

IIS NEWS

☆末岡教授逝去☆

第1部 末岡清市教授は、昭和37年9月29日癌性胸膜炎のため東大医学部付属病院物療内科において逝去された。告別式は、10月3日小石川伝通院において執行され、幸い天候にめぐまれ多数の焼香者があった。

37年9月29日付、内閣より従四位勲四等に叙され、瑞宝章を授けられた。故人は、原子スペクトルの理論的研究で知られ、応用数学の権威でもあり、また昭和35年4月1日より2年間にわたり文部省において科学官として活躍された。5月7日より入院、わずか4カ月余で不帰の客となられたことは、邦家のためにもまことに惜しまれることである。

☆寄稿☆

◇第3部 教授 尾上守夫、元技研生 沢辺三男 A Piezo-electric Piezomagnetic Gyator Proc. IRE 50, 1967-1973. (1962.9)

◇第3部 教授 尾上守夫 Triangular Walk Pattern for the Down Hill Method of Solving a Transcendental Equation Com. ACM. 5, 399. (1962.7)

☆著書☆

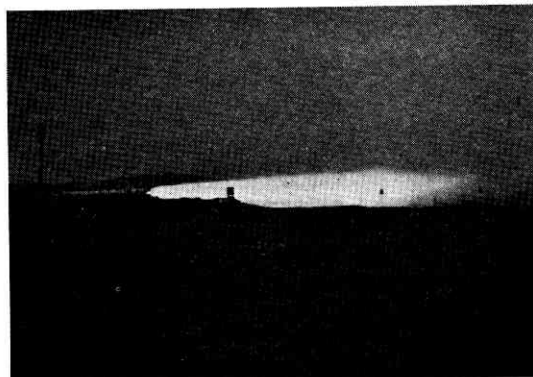
◇第1部 助教授 山田嘉昭, M. Reiner 原著, 改訂レオロジーの基礎理論 (柳沢延房と共著), コロナ社, XVI+399ページ (1962.9.30)

☆海外渡航☆

◇第2部 松永正久教授は英国ケンブリッジ市ケンブリッジ大学において潤滑に関する研究をおこなうため37年9月4日出発し、38年9月3日帰国の予定。

☆ラムダ・エンジンの地上燃焼試験☆

昭和37年10月29日、新設の能代実験場でラムダ型ロケ



L-735型ロケットエンジンの燃焼

ット・エンジンの地上燃焼試験が行なわれた。エンジンは直径73.5cm長さ8mで四つのノズルをもち、燃焼時間は25.5秒であった。ラムダ型エンジンは、1/9, 1/3, 2/3の長さのものを行なって、今回フルサイズのものを実験の上完了したので、明38年春頃、KSCで飛しょう実験に移される予定である。生研SE研究班の実験場は今回新設の能代市浜浅内海岸の能代実験場を入れて4カ所になり、次のようになる。

NTC (能代市浜浅内にあり、能代実験場 (Noshiro Testing Center) という)

ARR (秋田県由利郡岩城町にあり、秋田実験場 (Akita Rocket Range) という)

CTC (千葉市弥生町にあり、千葉実験場 (Chiba Testing Center) という)

KSC (鹿児島県肝付郡内之浦町にあり、鹿児島宇宙空間観測所 (Kagoshima Space Center) という)

IIS NEWS

筆者紹介

◇菊池 真一 教授 工博 専攻 応用電気化学・光化学	◇野崎 弘 教授 工博 専攻 応用電気化学・応用工学
◇吉永 忠司 助手 専攻 同上	◇田中 啓介 本所研究生・日漕化学工業株式会社
◇沢井善三郎 教授 工博 専攻 電力機器学	◇白井ひで子 助手 工博 専攻 有機工業分析学
◇稲葉 博 技官 専攻 同上	◇田宮 真 教授 工博 専攻 船体運動学
◇川瀬 太郎 大学院学生 専攻 同上	

出版委員 永井 芳男	委員 高橋 幸伯	委員 加藤 正夫	専門委員 星野 昌一
出版委員 富永 五郎	委員 森 政弘	*後藤 信行	黒川 兼行
委員 北川 英夫	*沢井善三郎	石井 聖光	森 大吉郎
委員 亙理 厚	黒川 兼行	小林 一輔	下村潤二郎
	菊池 真一		水野 清明

*印当番委員

第14巻 第12号

生産研究

1962年12月1日発行

印刷所 三美印刷株式会社
東京都荒川区日暮里町8-93

発行所 東京大学生産技術研究所

東京都港区麻布新龜土町10

電話 (408) 4291 (代表)

千葉実験場 千葉市弥生町1

電話 千葉(2)0261(代表)

頒価 80円

編集者 永井 芳男

発行者 藤高 周平